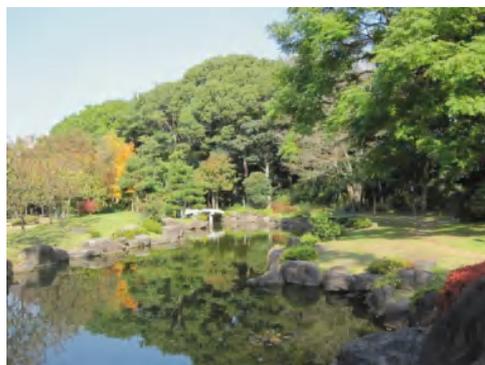


# 都島区の 都市景観資源紹介



# 都島区の都市景観資源

大阪市では、都島区の都市景観資源の発掘のため、都島区未来わがまちビジョン推進会議との連携により「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成24年12月21日に7件を都市景観資源に登録しました。

## 1. 藤田邸跡（太閤園、藤田邸跡公園、藤田美術館）



### ◆所在地

都島区網島町9番10号、10番、10番32号

### ◆概要

大阪経済の基礎を築き、明治時代に関西実業界の中心人物であった藤田傳三郎氏が明治42年（1909年）に建築した邸宅の跡地で、公園や藤田美術館、太閤園が位置する。豪壮を誇った邸宅のほとんどは、戦災で失われたが、大正3年（1914年）に竣工し、

唯一残された東邸は、「淀川邸」として、現在も大正ロマンの薫りを漂わせている。太閤園は、その「淀川邸」を中心に、7,000坪の広大な敷地に築かれた築山式回遊庭園等から構成され、その庭園には、自然の奇石珍石や古き由緒ある灯籠や石仏などを日本各地より集め、配置している。

藤田邸跡公園は、築山・滝・流れを基本的構成とし、起伏に富んだ地形を人工的につくり出している。平成15年（2003年）に大阪市の名勝の指定を受け、毛馬桜之宮公園の一部として平成16年（2004年）に開園した。

藤田美術館は、傳三郎と長男平太郎、次男徳次郎が収集した東洋古美術を保存展示している。邸宅のほとんどは戦災で焼失したが、罹災を免れた蔵を改造し、昭和29年（1954年）に開館した。

## 2. 淀川神社



### ◆所在地

都島区毛馬町1丁目2番11号

### ◆概要

平安時代に淀川河口を護る武士達によって祀られたのを始まりとし、友洲村には氏神として「十五神社」が、毛馬村には氏神として「八幡神社」が祀られていたが、明治時代に他社に合祀された。昭和に入り、平和な街づくりと、明るい郷土の発展を願う熱心な人々の

総意によって、旧十五神社の境内地に毛馬町、大東町、友洲町の総鎮守として再建された。

御祭神は天照皇大神、八幡大神、子守大神、春日大神ほか。

夏祭りは子供神輿、枕太鼓巡行、秋祭りは湯神楽奉納があり、夜店も多数出て大いに賑わう。

## 3. 淀川河川敷（都島区）



### ◆所在地

都島区毛馬町3丁目地先

### ◆概要

淀川河川敷には淀川河川公園が、昭和47年（1972年）から整備されており、当地区は昭和51年（1976年）に整備された。都島区に位置する公園部分は、スポーツのためのグラウンドのほか、芝生広場や野草広場が広がっており、家族そろって楽しめる空間となっている。緑地部分の面積が幅広く、ゆったりした淀川のランドスケープを楽しむことができる。